

山口連区防災訓練

令和6年11月17日(日)

午前8時 各家庭から訓練を開始します

地域の人は地域で守る



矢形町のみなさん 令和5年11月訓練

訓練の詳細は裏面に記載しています

地震災害に備える（地域の安心のために）

黄色いハンカチや安否情報カード（以下安否札という。）を使った安否確認は、「自分たちの町内の人は自分たちで守ろう」という意義で実施しています。

南海トラフ大地震において、瀬戸市に想定される震度は最大でも震度6弱です。家屋の倒壊は稀ですが、倒れた家具に挟まれたり、ケガで動けなくなる事故が多数発生することが懸念されています。それを早期に発見し救出するために、安否札がかかっている世帯を訪問（声掛け確認）することが有効です。

また、昼夜、曜日を問わずこの安否確認システムが機能するためには、特定の役員さんがいない場面でも、組集合場所に集まった人達だけで組区域の声掛け確認を始動させることが重要です。

一方、地震被害はライフライン損壊や物流が一定期間止まることにも及びます。山口連区の皆さんは、この防災訓練を契機として、家庭内備蓄を点検見直しすることをお願いします。（9月全戸配布の訓練予告チラシの裏面に備蓄例を記載しています。）

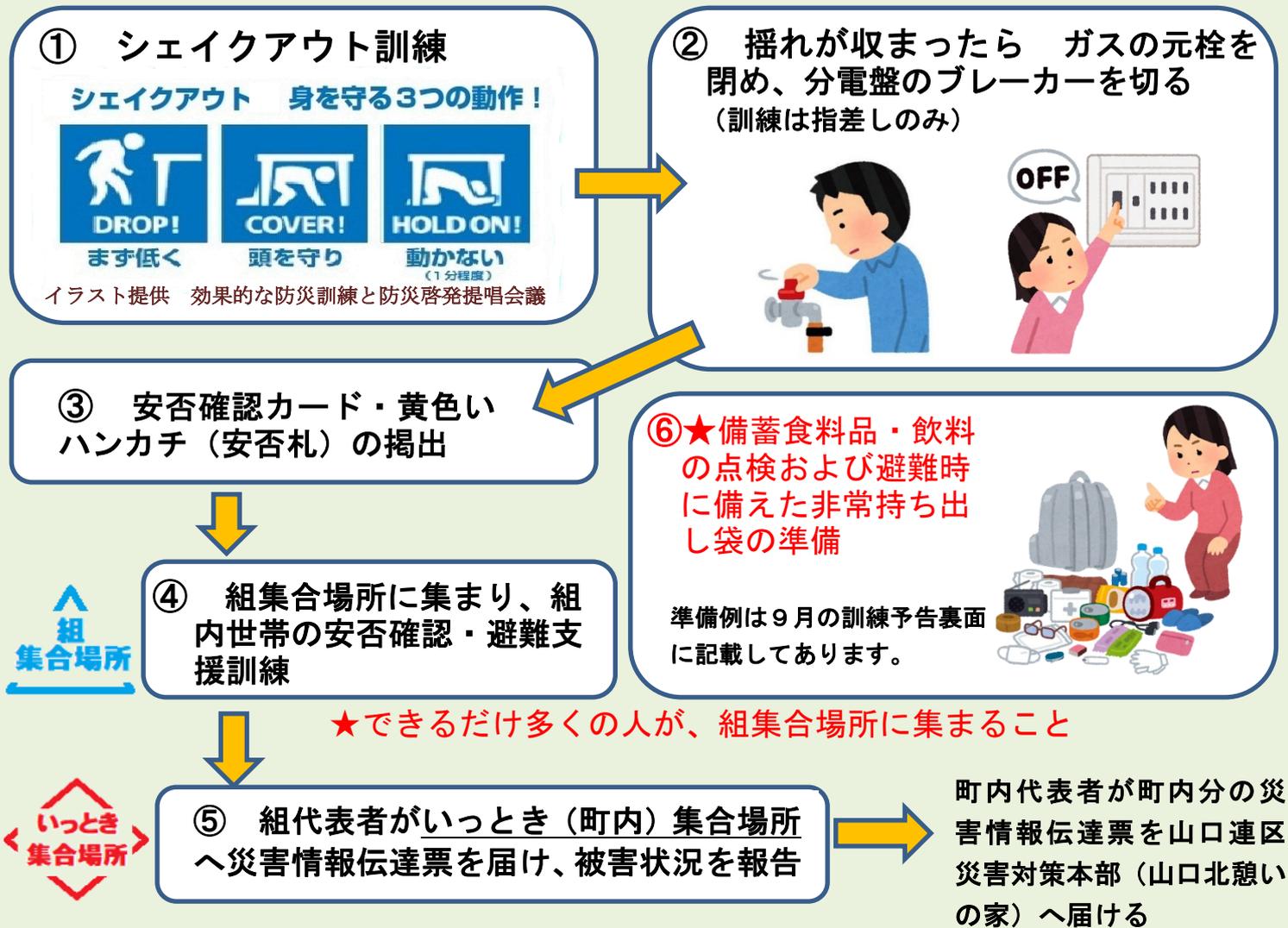


山口連区防災訓練への参加について（お願い）

令和6年11月17日(日)午前8時から、「震度6弱の地震が発生」と想定した「瀬戸市総合防災訓練に伴う山口連区防災訓練」を実施します。山口分団サイレンで訓練開始合図がありますが、聞こえなくても午前8時になったら各家庭から訓練を開始してください。（ラジオSANQから訓練開始放送、ならびに瀬戸市から安全安心情報メールの配信があります。）

今回の訓練は、連区内すべての世帯の皆様へ山口連区震災時避難計画に基づく地震時の初期行動を実践していただくことを目的としています。ご家庭の皆様は、次の5つの訓練を各家庭から始めてください。

家庭から始まる自助・共助訓練



以上で **おうち防災訓練・安否確認訓練** は終了です。安否札をお取り外しください。

南海トラフ巨大地震は、今後30年以内に70~80%の確率で発生するといわれています。各家庭では平時のうちから食料・飲料水（7日分以上）を備蓄し、有事に使える燃料や資材を準備してください。